

元気いっぱい 友だちいっぱい

すすんで学ぼう 夢つくるぞ



美小通信 6

横浜市情報教育ネットワーク(YY ネット)上に本校のホームページがあります。

URL : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushigaoka/>

学校長 松瀬 歩

青葉区美しが丘2丁目29

電話(901)3408

われは草なり

校長 松瀬 歩

われは草なり
高見 順

われは草なり
伸びんとす
伸びられるとき
伸びんとす
伸びられぬ日は
伸びぬなり
伸びられる日は
伸びるなり

われは草なり
緑なり
全身すべて
緑なり
毎年かはらず
緑なり
緑の己れに
あきぬなり

われは草なり
緑なり
緑の深きを
願ふなり

ああ 生きる日の
美しき
ああ 生きる日の
楽しさよ
われは草なり
生きんとす
草のいのちを
生きんとす

校門前のハナミズキ並木が色づき始めました。残暑が厳しかったことが嘘のように季節は急速に秋に向かっていきます。

左の詩は私が担任をしていた頃に5年の国語の教科書に載っていたものです。子どもたちも私も、この詩が大好きで、群読に夢中になって取り組んだものです。

この詩が、子どもたちをひきつける理由はたくさんあります。
・馴染みのない文語でありながら、朗読を繰り返していくうちに自然に意味が頭の中に入ってくる。

・七五調のリズムや繰り返される言葉が読んでいて心地よい。
・読み手によって、感じるものが様々である。例えば、ユーモラスな印象を受ける子、無理のない自然体の生き方がいいと感じる子、力強い生命力、生きる意志を感じる子など。

久しぶりに、この詩を改めてじっくり読み返してみても感じることは、「今の自分を否定しない」「自分らしく生きる」という作者の強い意志でした。今の時代、社会や学校になじめず自己肯定感が下がり、毎日楽しく過ごせていない大人や子どもが多い中、力を与えてくれる詩だと思いました(実はこの詩は、戦時中につくられ、戦後、作者の高見氏によって今の形に書き直されたそうです)。

コロナ禍で閉塞感の漂う今、少しでも元気になればと思いこの詩を紹介させていただきました。まもなく前期が終わろうとしています。これまでに、本校の教育活動にご理解・ご協力いただきましてありがとうございます。後期もどうぞよろしく願いいたします。

美小自然ウォッチング



葛(クズ)・・・空地一面を覆いつくす葛。厄介者扱いされていますが、実はとても有用な植物です。根は葛根湯や葛餅の原料となり、葉は飼料となります。藤を逆さにしたようなきれいな花を咲かせ万葉集にも詠まれています。海外に輸出されましたが、今現在、グリーンモンスターと呼ばれ、侵略的外来種に指定されている国もあるそうです。